

みんなには

地域医療を目指す、オンリーワンの病院

佐野厚生総合病院です

2023 新年号 Vol.22



CONTENTS

- 新年のあいさつ
- 佐野厚生総合病院Dr教室
- 部署紹介、連携登録医
- 放射線コラム
- 院内インフォメーション
- 外来担当医一覧



新年のごあいさつ



佐野厚生農業協同組合
連合会
代表理事会長
時崎 栄

新年明けましておめでとうございます。
昨年はコロナ禍とウクライナ侵攻で世界が分断され、人が生活するのに必要なエネルギー・食料が停滞し格差が広がり、世界の人口も80億となり、緩やかに温暖化が進み自然現象も猛威を振るいました。今年は干支が「寅」から「卯」となり「動」から「静」と落ち着いた年になることを願いたいと思います。
当連合会も1937年に創立され時代の潮流に晒されながら86年を迎え、現在の地で早20年となりました。設立当初から「地域医療を守り、地域に貢献する」を掲げ、理念は「協同の精神と思いやりの心」を持って業に励むことの積み重ねが、地域の方々への要望に叶うことであります。この3年に及ぶコロナ禍においても、医療は日々技術革新があり、最新の技術を的確な時期に導入して、適切で最新の医療を提供して参ります。また、当連合会での医療・福祉・保健・介護の事業において互いに連携を保ち適切で最良の診療を心掛けます。

最後に今年も幸多き1年であることを祈念し、役職員一同、日々邁進して参りますので皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。



佐野厚生総合病院
院長
村上 円人

明けましておめでとうございます。
2022年は、災害拠点病院に指定され、慢性期病床を閉鎖し急性期に特化した病院に生まれ変わりました。そのため回復期になると、今までより早期に退院をお願いすることになりました。在宅に円滑に繋げるために訪問診療が始まりました。転院先としては、佐野メディカルセンターへの転院数が増加し、市外では足利市や館林市の医療機関との連携も進んでおります。

本年度は不整脈のアブレーション治療導入、下肢静脈瘤のRFA治療導入等の技術革新を進めます。訪問診療を拡大し佐野市全域へのサービス向上をめざします。また医療用画像管理システムの更新等のAI化推進と事務系業務の再構築を行います。当院は5疾病(脳卒中、心臓病、がん、糖尿病、精神)6事業(救急、災害、小児、産科、へき地、感染症)を担う中核病院として、地域に寄り添い、安全で安心な医療をめざし職員一同頑張っております。本年も宜しく願い申し上げます。





佐野厚生総合病院
看護部長
向田千津

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスの流行から3年が経とうとしています。コロナ対策では、行政や企業へのワクチン協力、コロナ陽性者外来の設置等、通常診療とコロナ診療の両立を目指し職員一丸となって頑張った一年でした。また昨年9月から急性期病院への転換、それに伴い退院調整部門の強化を行いました。看護部では更に介護科を立ち上げ、高齢化する社会に対応すべく介護職の業務体制を整えるスタートを切りました。介護福祉士の資格をお持ちの方、また無資格の方でも看護補助者として、医療チームの一員として私たちと一緒に働いてくださることを願い、お待ちしております。

患者様・ご家族様が安心して治療に専念また療養の支援ができるよう、看護技術はもちろん、その対応にもプロとして関わることが私たちの責務と考えます。個々がミッションを認識し、行動できるよう頑張っていますので、よろしくお願いたします。



クリスマスリースを ご寄贈いただきました

2022年12月つぼみ保育園より、当院へクリスマスリースをご寄贈いただきました。
日頃より地域の皆様からの当院へのあたたかいお言葉やご支援に対して感謝致します。





ひざの変形はいつからはじまるの？

整形外科 吉川 寿一



皆さん、関節の痛みにお困りではありませんか？関節痛になやむ人はとても多く、65歳以上の女性では腰痛に次いで2番目、男性では腰痛、頻尿、難聴について4番目に困っている症状といわれています。ひざの痛みを最初に自覚する年代は、40代と50代がピークとされていますが、それではその年代に何か起こるのでしょうか？

ひざの痛みを自覚し病院を受診した時に“レントゲンは異常がないので、年齢的なものでしょう”といわれた経験はありませんか？あるいは年のせいと勝手に思い込んで我慢されている人はいないでしょうか？それでは“ひざの変形は年のせい”というの本当でしょうか？確かに数年前まではひざの変形は年齢を重ねるごとに徐々に進行すると考えられていました。しかし、最近の研究ではある出来事をきっかけに加速度的に進行することがわかってきました。そのカギになる組織は“半月板”です。

半月板は太ももの骨(大腿骨)とすねの骨(脛骨)の間にある組織で、脛骨に強固に固定され、大腿骨の動きを安定化する働きがあります。焼き鳥などでたべる軟骨に似たような外観と強度をしていますが、日常生活でくりかえし荷重がかかるとしだいに小さな切れ目ができます。最初は小さな切れ目でも、徐々にさけ目が広がって、最後にはちぎれて脛骨からはがれ落ちてしまいます。その時、多くの患者さんはパキッという音とひざがずれる感覚とともに、激しい痛みを感じます。これは“popping sensation”といわれる現象で、40～50歳のころに起こりやすいとされています。この“popping sensation”こそひざの変形が始まる瞬間であり、整形外科での治療を開始する最高のタイミングと考えられています。

しかし、“popping sensation”の際に生じる疼痛は激痛ではある一方で、髪の毛を引き抜いたときの痛みのごとく数日で薄れてしまう人もいるため、病院を受診することなく、治療のタイミングを逃しやすいことが問題です。

40代になってひざの痛みが気になりだした人は、このタイミングを逃さず整形外科を受診してください。



連携登録機関のご紹介

上石せぼね・骨粗しょう症クリニック

所在地 佐野市高萩町1332-3
電話番号 0283-27-2210
診療科 整形外科



かみいし さとし
院長 上石 聡



「せぼね」と「骨粗しょう症」を専門としています。現在、佐野厚生総合病院・脊椎センター相談役を兼任しており、毎週木曜日の午後に手術の指導を行っています。クリニックスタッフの6名が、日本骨粗鬆症学会認定骨粗鬆症マネージャーの資格を取得し、最新の情報をわかりやすい言葉で説明し、治療継続のサポートを行っています。

- 診療時間 AM 9:00～12:00 (月・火・水・木・金・土)
PM 3:00～6:00 (月・火・水・金)
- 休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

表紙の 部署紹介

医事課



私たちは総合受付、外来、病棟とそれぞれの場所で毎日業務に励んでいます。それぞれ仕事内容も異なり、初めは右も左も分からない状態でしたが、先輩方のご指導のおかげで少しずつ仕事に慣れてきました。4月に入社したばかりで日々の業務に加え救急業務などめまぐるしい毎日ですが、医師や看護師、薬剤師など様々な業種の方々と協力しながら、常に新人らしいフレッシュな気持ちで患者さんと接することを日々心掛けています。今後も常に学ぶ姿勢を忘れず、患者さんの気持ちに寄り添いながら日々の業務に励んでいきたいと思えます。





被ばくってなに？

放射線科

『被曝(被ばく)』とは放射線にさらされる(曝される)ことです。医療機関で放射線を利用したレントゲン(X線)検査・CT検査・マンモグラフィー検査などは『被曝(被ばく)』が使用されます。被曝と(被ばく)は同じ意味で使用され、曝は常用漢字でないため(被ばく)と表記されます。

一方『被爆』は原子爆弾などによって被害を受けることを意味します。爆弾により爆風や熱線などの影響を受けるため『被爆』が使用されます。

放射線を空から降ってきた雨に例えてみると、雨により濡れてしまった量を表すGy(グレイ)、濡れたことで体にどれくらい影響があるのかをあらわすSv(シーベルト)が放射線の単位として使用されています。Gy(グレイ)は吸収した放射線の量を、Sv(シーベルト)は放射線による人体への影響を示します。

放射線による人体への影響は放射線を受けた部位によって異なりますが、放射線が照射された場所に直接起こる障害と、放射線の影響で将来、がんや白血病、遺伝的影響が起こる可能性が考えられます。放射線の影響で髪が抜ける、皮膚が赤くなる、子供が出来なくなるなどの直接的な障害やがんや白血病、遺伝的影響などがあげられます。

レントゲン(X線)検査やCT検査を繰り返し受け、(被ばく)で人体への影響を心配されることがありますが、医療機関で行われる検査では、障害を起こすと考えられる被ばく線量よりはるかに少ない線量を使用しているため、体に放射線が蓄積されることはなく、身体的症状が現れるなどの将来の影響を心配する必要はありません。

放射線を使用した検査は、病気やケガを正しく早期発見・診断し治療に役立てていくために必要な検査ですが、医療放射線であるX線を使用しているため(被ばく)を避けることができません。放射線の利用は、病気を発見するメリットの方が(被ばく)等のリスクよりも十分に大きいときのみに行われています。

医療機関で使用されている放射線の量は、医師の指示のもと、身体に影響が出るといわれる量よりはるかに少ない量を使用し、検査に必要な部位のみに照射しているため、放射線による人体の影響を心配することなく安心して検査を受診してください。

このコラムでは、放射線科で行われている検査等の紹介を1年を通してお伝えしていきたいと思っております。



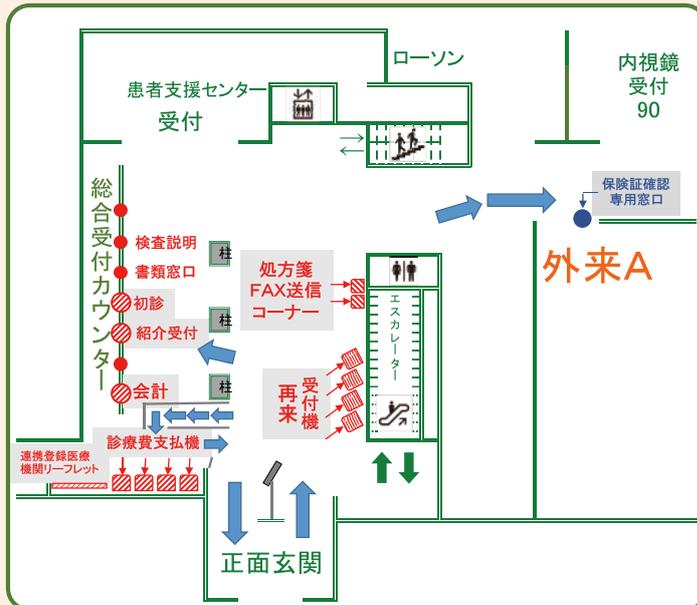
院内インフォメーション

☑ 総合受付改修のお知らせ

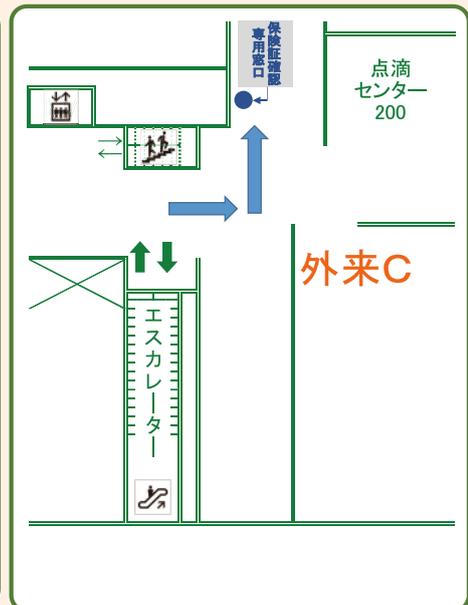
10月より総合受付まわりの配置が変更になりました

保険証は各外来A・B・C・Dで確認致します
また時間帯で[保険証確認専用窓口](#)も用意しております

【1階】



【2階】



毒の素 第23話

清水健太郎 (非常勤)



診療費支払機



再来受付機



編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、今年はいざぎ年ということで、一説にはうさぎは跳びはねることから、飛躍する象徴とも言われております。私自身も飛躍できる様精進して参りたいと思います。

本年も広報誌「こんにちは佐野厚生総合病院です」をよろしく願いいたします。(N・T)

